

(新) 出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要		
第1章 砂防堤 第3節 製作節工	1-3-4	鋼製堰堤仮設材製作工	部材 部材長 ℓ (m)	$\pm 3 \dots$ $\ell \leq 10$ $\pm 4 \dots$ $\ell > 10$	図面の寸法表示箇所、任意の部分測定。		規格値の ℓ に代入する数値はm単位の数値	
	第8節 コンクリート堰堤工	1-8-4	コンクリート堰堤本體工	基準高 ∇	± 30	図面の寸法表示箇所、任意の部分測定。		
			コンクリート副堰堤工	天端部 w_1, w_3	-30			
水通しの幅 ℓ_1, ℓ_2			± 50					
堰長 L_1, L_2			-100					
1-8-6	コンクリート側壁工	基準高 ∇	± 30	図面の寸法表示箇所、任意の部分測定。 長さ、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。				
		幅 w_1, w_2	-30					
		長さ L	-100					
1-8-8	水叩工	基準高 ∇	± 30	図面の寸法表示箇所、任意の部分測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。				
		幅 w	-100					
		厚さ t	-30					
第9節 鋼製堰堤工	1-9-5	鋼製堰堤本體工 (不透過型)	水し通部	提高 ∇	± 50	図面の寸法表示箇所、任意の部分測定。 ダブルウォール構造の場合は、提高、幅、袖高は十の規格値は適用しない。		
			長さ ℓ_1, ℓ_2	± 100				
			幅 w_1, w_2	± 50				
			下流側倒れ Δ	$\pm 0.02H_1$				
			袖部	袖高 ∇	± 50			
			幅 w_2	± 50				
	鋼製堰堤本體工 (透過型)	堰長 L	± 50	図面の寸法表示箇所、任意の部分測定。		格: 格子型鋼製砂防ダム A: 鋼製スリットダム A型 B: 鋼製スリットダム B型 L: 鋼製スリットダム L型		
		堰長 ℓ	± 10					
		格・B・L	± 30					
		堰幅 W	± 30					
		堰幅 w	± 10					
		格A・B・L	± 10					
高さ H	± 10							
格A・B・L	± 10							
1-9-6	鋼製側壁工	堤高 ∇	± 50	図面の寸法表示箇所、任意の部分測定。 ダブルウォール構造の場合は、提高、幅、袖高は十の規格値は適用しない。				
		長さ L	± 100					
		幅 w_1, w_2	± 50					
		下流側倒れ Δ	$\pm 0.02H$					
		高さ $h < 3m$	-50					
		高さ $h \geq 3m$	-100					
第2章 流路	第5節 床面め工	2-5-8	魚道工	基準高 ∇	± 30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。 製品使用の場合の製品寸法は、規格証明書等による。		
			幅 w	-30				
高さ h_1, h_2	-30							
厚さ t_1, t_2	-20							
延長 L	-200							

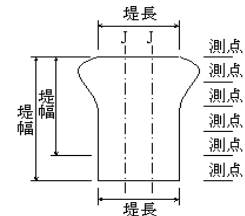
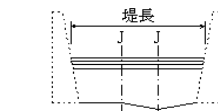
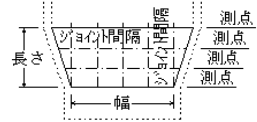
(新) 出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第3章 第6節 斜面対策	3-6-4 山腹明暗渠工	基準高 ∇	±30	施工延長100mにつき1箇所以上測定。 なお製品使用の場合の寸法は、規格証明書等による。		
		厚さ t_1, t_2	-20			
幅 w	-30					
幅 w_1, w_2	-50					
高さ h_1, h_2	-30					
深さ h_3	-30					
延長 L	-200					
第7節 地下水排除工	3-7-4 集排水ボーリング工	削孔深さ θ	設計値以上	5本につき1箇所以上測定。		
		配置誤差 d	100			
		せん孔方向 θ	±2.5度			
第9節 杭工	3-7-5 集水井工	基準高 ∇	±50	5本につき1箇所以上測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。		
		偏心量 d	150			
長さ L	-100					
巻立て幅 w	-50					
巻立て厚さ t	-30					
3-9-6 合成杭工	基準高 ∇	±50	10本につき1箇所以上測定。			
	偏心量 d	D/4以内 かつ100以内				

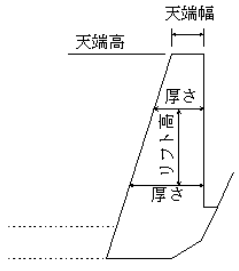
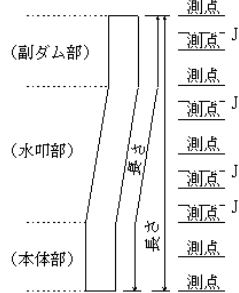
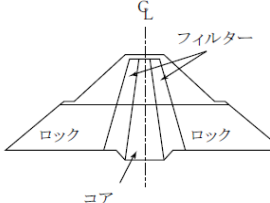
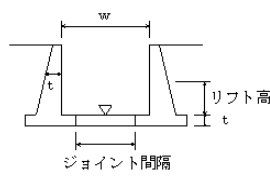
(新) 出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第1章 第4節 コンクリートダム	1-4 コンクリートダム工 (本体)	天端高	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤高は、天端中心線延長を測定。 越流堤頂部、天端仕上げなどの平坦性の 測定方法は、検査員の指示による。 監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性等の測 定方法は、検査員の指示による。		
		天端幅	±20			
		ジョイント間隔	±30			
		リフト高	±50			
		堤幅	-30, +50			
		堤長	-100			
	コンクリートダム工 (水叩)	天端高	±20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 幅は、図面の寸法表示箇所所で測定。 水叩の平坦性の測定は、検査員の指示 による。		
		ジョイント間隔	±30			
		幅	±40			
	コンクリートダム工 (副ダム)	長さ	-100, +60	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 堤長は、図面の寸法表示箇所所で測定。		
		天端高	±20			
		ジョイント間隔	±30			
リフト高		±50				
堤幅		-30, +50				
堤長	±40					

(注)1. j : ジョイント



(新)出来形検査基準規格値(mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要			
第1章 コンクリートダム	第4節 ダム コンクリート工	1-4	コンクリートダム工 (導流壁)	天端高 ∇ ± 30 ジョイント間隔 ± 20 リフト高さ ± 50 長さ ± 100 厚さ ± 20	5ジョイントにつき1箇所以上測定。 長さは、天端中心線の水平延長又は、測点に直角な水平延長を測定。	 			
		第2章 フィルダム	第3節 盛立工	2-3-5	コアの盛立	基準高 ∇ 設計値以上 外側境界線 $-0, +500$	5測点につき1箇所以上測定。 ※外側境界線は標準機種(タンピングローラ)の場合。		
				2-3-6	フィルターの盛立	基準高 ∇ -0 外側境界線 $-0, +1000$ 盛立幅 $-0, +1000$	5測点につき1箇所以上測定。		
				2-3-7	ロックの盛立	基準高 ∇ -100 外側境界線 $-0, +2000$	5測点につき1箇所以上測定。		
				2	フィルダム (洪水吐)	基準高 ∇ ± 20 ジョイント間隔 ± 30 厚さ t ± 20 幅 w ± 40 リフト高さ ± 20 長さ L ± 100	図面の寸法表示箇所で、任意の部分測定。		
第3章 基礎 グラウチング	第3節 ボーリング工	3-3	ボーリング工	深さ L 設計値以上 配置誤差 100	5本につき1箇所以上測定。 ※配置位置の規定は、コンクリート面で行うカーテングラウトに適用する。	